

第8回海洋安全システム科学セミナーのご案内

以下の通り、セミナーを開催します。ご関心のある方は、大学の内外を問わず、ご参加ください。

日時： 2020年2月28日(金) 13:30 から 14:30

場所： 神戸大学深江キャンパス 総合学術交流棟1F 梅木 Yホール
658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1

演題： 海洋学と沿岸海洋環境

講師： 朝日 俊雅 先生(神戸大学内海域環境教育研究センター)

講演要旨

私が2019年4月に特任助教として神戸大学海事科学部に配属されて（所属は同大学内海域環境教育研究センター）、はや一年が経過しようとしている。当セミナーでは私のこの一年間、神戸大学で感じたこと、学んだことなどを中心に講演を行う。

(1) 海洋学と沿岸海洋学の乖離

『海洋学 (Oceanography)』は太平洋や大西洋といった『洋 (Ocean)』を対象とした学問である。沿岸海域 (Coastal water) は洋と同じく海水で満たされているものの、その物理特性、物質循環、生物生態が大きく異なる。従って、海洋学の知見は一部、沿岸海域でも活用できるが、そうでない場合もある。

(2) 沿岸海洋に関する講義

日本国内で海洋学およびそれに類する学問を取り扱う学校機関はいくつかあるが、その中で沿岸という単語が付く学問を取り扱う機関は少ない。神戸大学海事科学部で内海域環境学や瀬戸内海学入門と言った沿岸海洋に『ドンピシャ』な講義がいくつか有り、それら

の講義のいくつかに携わることが出来た。

(1) に記載したように、沿岸海域は一般的な海洋学の知識が通用しないだけでなく、その土地ならではの社会的な問題や独自で複雑な物理化学環境などを含み、一般体系化しにくいという問題が有るかもしれない。そのような中で神戸大学海事科学部が瀬戸内海の環境を学問化し、あるいは学生諸氏に講義しているという事実は非常に興味深く、素晴らしい取り組みだと感じられた。

(3) その他

- ・海象系の研究室と気象系の研究室が合同でゼミを開催している？
- ・大阪湾の透明度
- ・『にくすい』って何？
- ・観測機器と付着生物

など、神戸大学に着任してから知ったこと、驚いたことなどもセミナーの中で紹介する。